



ロシュ・ダイアグノスティックス 技術セミナーのご案内

(筑波大学 形質転換植物デザイン研究拠点 テクニカルセミナー(1))

日時： 2010年4月26日(月) 13:30~14:30

場所： セミナー室

ロシュダイアグノスティックス 次世代シーケンサー

Genome Sequencer FLX System 及び Genome Sequencer Junior の原理と応用

2005年 サンガー法シーケンサーの数十倍の処理能力を持った次世代シーケンサーGS20が454ライフサイエンス社(現ロシュ・ダイアグノスティックス)により発売されました。現在はGenome Sequencer FLX System(GS FLX)へと進化しており、サンガー法でのシーケンサーに比べると数千倍の処理能力となっております。リード長も、処理能力も、まだ進歩を続けており、2010年中には800ベース前後のロングリードも可能となる予定です。

また、弊社では次世代シーケンスの技術を より多くの研究者にご利用いただける新たな次世代シーケンサー Genome Sequencer Junior(GS Junior)を2010年に発売予定です。大規模ゲノム解析に適しているGS FLXに対し、GS Juniorは、GS FLXで実績のある技術を踏襲しつつ、コンパクトで低コストを実現し、多くの研究者に次世代の技術を提供いたします。

GS FLX及びGS Juniorの正確性の高いロングリードのシーケンスデータは、*de novo* シーケンスやリシーケンスを容易にし、ニブルジェンDNAアレイ技術と融合したターゲットリージョンリシーケンシングやメタゲノム解析、cDNA解析など、様々なアプリケーションに利用可能です。

今回は、ロシュダイアグノスティックス ゲノムシーケンサーのテクノロジーをご紹介するとともに、次世代シーケンサーの様々なアプリケーションをご紹介いたします。



454
SEQUENCING

センター内連絡先： 溝口剛 (ext 6005)